

# 今年1年のまちのあゆみ

平成19年も残すところ1カ月をきりました。皆さんにとってはどんな1年だったでしょうか。今年は、新年早々から大雪と強風による停電などの被害が発生し、「いったいどんな年になるのだろうか」と心配されていた町民の皆さんも多かったのではないのでしょうか。それでは、今年1年のまちのあゆみを振り返ってみましょう。

1月7日  
冬の嵐猛威を振るう

猛烈に発達した低気圧の影響により、7日未明から降り出した雪は深々と降り積もり、落合地区で積雪が60センチを超える大雪となったほか、強風が吹き荒れ大荒れの天気となりました。この大雪と強風により、鹿越大橋付近に架かる送電線が切れたため、午前5時30分頃から町内全域で停電となり、金山・下金山地区では午前7



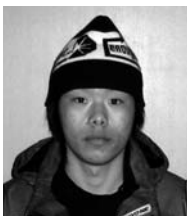
1月7日の落合地区市街地の様子

時頃までに復旧しましたが、幾寅の市街地では午後6時頃、東鹿越地区の一部では午後9時頃まで停電が続き、寒さの中照明や暖房が使えず、日常生活に大きな影響がありました。

また、この日行われた成人式でも、停電のため照明や暖房が使えず、窓からの明かりを頼りに、31名の新成人の新たな門出を祝いました。

1月15日

高橋竜己くん(幾寅)



北・北海道高校スキー選手権優勝  
小樽市の朝里川温泉スキー場で開催された、第59回北・北海道高等学校スキー選手権大会において、本町から出場した富良野高校3年高橋竜己くん(幾寅)が、男子大回転で見事に優勝を飾り、2月1日から富山市で行われる全国大会への出場権を獲得しました。

全国大会では、11位という結果

でしたが、大学進学後も競技生活を続けており、更なる活躍が期待されています。

1月15日

富良野広域連合準備委員会発足

富良野圏域5市町村では、昨年自治のかたち検討プロジェクトチームからの報告を受けて、4つの「自治のかたち(市町村連携、広域連合、市町村合併、広域都市)」の中から「広域連合」を選択することに合意したところですが、広域連合の設置に向けて具体的な検討をはじめると同時に、富良野広域連合準備委員会が発足しました。

2月8日

下金山地区

交通事故死ゼロ14000日達成  
下金山地区では、昭和43年10月10日に国道237号線で死亡事故が発生してから、39年間交通事故死ゼロが続いており、平成19年2月8日をもって交通事故死ゼロ14000日を達成しました。

2月9日 12日

南富良野高校カーリング部

男女で全国高校選手権大会へ出場  
第2回全国高等学校カーリング選手権大会が青森市で開催され、南富良野高校の男女カーリング部が出場しました。

全国の各ブロック(北海道・東北・関東・中部・青森県)の代表



交通事故死ゼロ14000日達成を記念して、国道237号線沿いに、交通安全協会の皆さんが啓発看板を設置し、下金山小学校児童の皆さんがアイスキャンダルを作成しました。

チームが出場して行われた大会は、2年連続の出場となる男子は、予選リーグを2勝2敗の3位で決勝トーナメントへ進出し、準決勝で予選2位の北海道選抜に敗れ、昨年に続き3位となりました。  
初出場の女子は、2勝2敗で3チームが2位に並ぶ大混戦となり、ドロシヨットの結果、惜しくも4位という結果でした。

2月23日

農協女性部創立50周年

ふらの農業協同組合南富良野支所女性部が創立50周年を迎え、多くの関係者が出席する中、記念式典が行われました。

同女性部は、昭和33年5月に結成され、以後農村女性の地位向上と明るく豊かな農村を築くため、様々な活動を展開し、地域コミュニティ活動に積極的に参画するなど、本町農業の発展に大きく貢献されました。

3月17日 25日

寺田桜子さん・目黒萌絵さん

カーリングの世界選手権に出場

2007世界女子カーリング選手権大会が、青森市で開催され、寺田桜子さんと目黒萌絵さんが所属する「チーム青森」が日本代表として出場し、世界の強豪国に挑みました。

世界12カ国が出場し、総当たりで



目黒萌絵選手 寺田桜子選手(中央)

行われた予選リーグでは、寺田選手が最初にストーンを投げる「リード」として、目黒選手は最後にストーンを投げる「スキップ」として出場し、チームの地元青森での開催ということもあり、大歓声を受けながらの試合となりましたが、全11試合で4勝7敗という悔しい結果に終わりました。  
初戦のドイツとの対戦では、寺田・目黒両選手に大きな声援を送るうと町民テレビ応援も行われ、集まった約50人の町民の皆さんが、ストーンの行方に一喜一憂しながら、熱い声援を送りました。

3月28日

農民連盟創立60周年

南富良野町農民連盟が創立60周年を迎え、多くの関係者が出席する中、記念式典が行われました。  
同連盟は、昭和21年9月に南富良野村勤農組合として発足し、農地改革の推進や農産物価格の安定対策、農業所得の税対策など多くの運動を展開し、農民生活の向上と地域農業の近代化に寄与し、本町農業の振興発展に大きく貢献されました。

4月1日

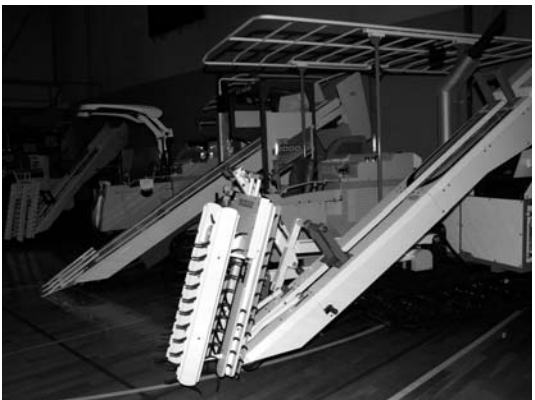
指定管理者制度の導入開始

町が設置する「公の施設」の管理について、地方自治法の改正により、議会の議決を経て指定される「指定管理者」に管理を委託(代行)することが可能となったことから、施設を一元的に管理することによって効果的・効率的な運営管理と、行政コストの削減と合わせてサービスの向上が図られることから、平成19年4月1日から14施設で導入されました。

4月1日

地域再生計画による旧金山中学校の活用が始まる

平成17年3月に閉校となった旧金山中学校の再利用について、校舎などを富良野市のオサダ農機株式会社(長田秀治社長)に無償で



体育館に保管されている人参収穫機

4月5日

なんぷう香房森のパン屋オープン

社会福祉法人南富良野大乗会が運営する、なんぷう香房森のパン屋が、道の駅南ふらのの敷地内にオープンしました。

この施設は、障害福祉サービス事業所として、グループホームで生活している地域生活者の就労の場を確保し、地域の中で自立して生活していくことを目的に、町や日本自転車振興会などからの助成を受けて建設されました。

(6ページへつづく)